

英語科学習指導案

学 級 1年1組(男子15名、女子13名 計28名)
 指導者 教諭 佐藤 恵(T1)・講師 熊谷 香菜(T2)

1 主題名(単元名) PROGRAM8 Origami (開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2 単元の目標

- (1) 人物の出身や特徴などについて、今までに習った表現を使って問答する。
 【外国語表現の能力】〔CAN DO リストの関連 話すこと(2)〕
- (2) 助動詞 can を用いた文の構造を理解する。【言語や文化についての知識・理解】
- (3) 疑問詞 How を用いた文の構造を理解する。【言語や文化についての知識・理解】

3 指導計画(全8時間) ○メイン ・サブ(ゴールに向けた活動)

| | 学 習 内 容 | 学 習 課 題 |
|---|--|--|
| 1 | ○オリエンテーション | 新出単語を読めるようになる。 |
| 2 | ○助動詞 can の肯定文・否定文の形・意味・用法を理解し、表現できる。(PROGRAM8①) | 「できること」「できないこと」を伝えることができるようになる。 |
| 3 | ○can を用いて書かれた教科書の英文の内容を理解する。 ・メモをもとに大介を紹介する文を書くことができる。(PROGRAM8①) | ○大介ができることは何かを理解しよう。 ・メモをもとに大介を紹介できるようになる。 |
| 4 | ○助動詞 can の疑問文と応答文の形・意味・用法を理解し、表現できる。(PROGRAM8②) | 相手が「できること」をたずねたり、それに対して答えたりできるようになる。 |
| 5 | ○can を用いて書かれた教科書の英文の内容を理解する。 ・can を使って問答し、ウッド先生について紹介することができる。(PROGRAM8②) | ○ウッド先生ができることは何かを理解しよう。 ・can を使って問答し、ウッド先生を紹介できるようになる。 |
| 6 | ○How～?の文と応答文の形・意味・用法を理解し、表現できる。(PROGRAM8③) | 「どのように～しますか。」とやり方をたずねたり、答えたりすることができるようになる。 |
| 7 | ○How を用いて書かれた教科書の英文の内容を理解する。 | 日本人女性がウッド先生に説明した内容を理解しよう。 |
| 8 | PROGRAM8 のまとめ(本時) | 今までに習った表現を使って問答しよう。 |

4 本時について

(1) 本時の目標と評価規準

| 観点 | 目標 | A 十分満足できる | B おおむね満足できる | C 具体的な対応・手立て |
|----------|------------------------|-------------------------------------|----------------------|------------------------------|
| 外国語表現の能力 | 既習事項を用いて口頭で問答することができる。 | 既習事項を用いて問答し、さらに、グループ内の生徒を助けることができる。 | 既習事項を用いて、問答することができる。 | 「使える質問文リスト」や教科書で表現方法を再確認させる。 |

(2) 「課題設定」と「振り返り」の構想

① 「課題設定」

本時は、1人の人物についての情報を見ながらペアで問答させ、相手から情報を得るための質問やその質問に対する答え方を確認させる。その後、本時の課題を設定し、教師と生徒との問答を通して情報の表を完成させ、全体である人物を特定させることで意欲を高め、課題設定につなげたい。

② 「まとめ」「振り返り」

本時の学習のまとめとして、本日の登場した人物について、既習事項を用いて個人で紹介文を書かせる。書かせることによって、既習事項の定着を図りたい。

本時の学習の振り返りとして、「Step By Step」に課題に対する自己評価とコメントを記入させる。

(3) 本時の展開

| 段階 | 学習内容及び学習活動 (◇主な発問) | ▲指導上の留意点 | ◎評 価 |
|-----------|---|---|---------------------|
| 導入 15分 | <p>1 あいさつ</p> <p>2 Review 情報を得るための質問の仕方を確認する。</p> <p>3 学習課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今までに習った表現を使って問答しよう。</p> </div> <p>4 教師の Who is this?クイズに挑戦する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Ex) T1: This is a woman. Who is this? S1: Is she twenty-five years old? T1: No, she isn't. She is twenty-seven years old.</p> </div> | <p>▲人物の情報シートを使用する。</p> <p>▲4カ所に情報用紙を貼る。</p> <p>▲板書し、生徒に意識させる。</p> <p>▲写真(ファイル入り)を提示する。</p> <p>▲生徒と問答しながら、表の枠に情報を埋めていき、誰のことなのかを全体で考える。</p> | |
| 展開 30分 | <p>5 各グループ(3~4人)活動①</p> <p>(1) 4人でA~Dの担当を決める。</p> <p>(2) 4カ所に散らばり、A~Dの情報をそれぞれ得るとともに、リーダーを中心にカテゴリーに対して答えられるよう練習する。</p> <p>(3) グループ内でA~Dについて英語で問答し合い、ワークシートの表に情報を書き込む。</p> <p>(4) 情報を見て、A~Dが誰なのかをグループ内で特定する。</p> <p>6 全体確認 A~Dの人物が誰なのか、全体で確認する。</p> <p>7 まとめ 個人で自分が担当した人物について、既習事項を用いて紹介文を書く。</p> | <p>▲4人グループでの約束を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語を使わない。 ・情報は、自分でメモする。他の人に見せないこと。 ・3人グループは、1人が2カ所を担当する。 ・質問は、A←B←C←D←Aがする。 </div> <p>▲A~Dのリーダーを決める。</p> <p>▲適切に英語で問答できているか確認する。</p> <p>▲表を埋めてから、誰なのかを当てるように話す。</p> <p>▲A~Dの写真を提示する。</p> <p>▲自分の担当の人物の紹介文を書き終わった生徒には、ほかの人物についても書かせる。</p> <p>▲つまづいている生徒には、ヒントを与える。</p> | ◎既習事項を用いて、問答できているか。 |
| 終末 5分 | <p>8 学習の振り返り ・「Step By Step」に記入する。</p> <p>9 本日の宿題と次時の予告 ・自分の好きな人物についての紹介文(5文以上)をノートに書いてくる。</p> | ▲本時の学習において、できたことやできなかったことなどを自分自身で振り返る。 | |